

「解析力学」(第1版:河辺哲次 著)の訂正等一覧 (2026(R8) 年1月現在)

第1版の訂正, 修正等の一覧表です. どうぞ, よろしく願いいたします.

ページ	行, 式, 図番号	原文	訂正, 修正, 加筆, 変更等
116	上から11行目	になります.	になります (4.2.2 項を参照).
121	下から1行目	未定乗数 $\lambda(t)$ も求め, その物理的意味を	未定乗数 $\lambda(t)$ の物理的意味を
186	下から3行目	周長 2π の円筒形に	周期 2π の円筒形に
202	式 (8.71) の次の1行目 式 (8.72) の次の1行目	結局 (8.68) は (8.70) が求まります.	結局 (8.70) は (8.68) が求まります.
226	Training 9.3 の式 (9.57) の E を全て α_1 に変える	$\sqrt{\frac{2E}{m\omega^2}}$	$\sqrt{\frac{2\alpha_1}{m\omega^2}}$
228	上から3行目	$k = \sqrt{\frac{E}{2mgl}}$ で定義し	$k = \sqrt{\frac{\alpha_1}{2mgl}}$ で定義し
233	下から6行目	は (9.91) のように振動の	は次の式 (9.91) のように振動の
240	[9.7] の (2) の式 (9.115)	$\overline{H}(\tilde{\omega}, J) = \frac{\omega J}{2\pi} + \frac{\dot{\omega}}{\omega} J \sin 4\pi\tilde{\omega}$	$\overline{H}(\tilde{\omega}, J) = \frac{\omega J}{2\pi} + \frac{\dot{\omega}}{\omega} \frac{J}{4\pi} \sin 4\pi\tilde{\omega}$
	[9.7] の (3) の1行目	ハミルトンの運動方程式 $\dot{J} = -\partial H / \partial \tilde{\omega}$	ハミルトンの運動方程式 $\dot{J} = -\partial \overline{H} / \partial \tilde{\omega}$
264	(10.104) の (3) の式	$[\hat{q}_j, \hat{p}_k] = i\hbar\delta_{jk}$	$[\hat{q}_j, \hat{p}_k] = i\hbar\delta_{kj}$
282	8.2 の (2) の1行目	(8.66) の $\overline{H}$ に	(8.67) の $\overline{H}$ に
284	[10.7] の (3) の2行目	$[\hat{q}_j, \hat{p}_k] = i\hbar\delta_{jk}$ が成り立ちます.	$[\hat{q}_j, \hat{p}_k] = i\hbar\delta_{kj}$ が成り立ちます.
290	[3.2] の3番目の式	$\frac{y'}{\sqrt{x(1+y'^2)}} = \text{一定値} \equiv \frac{1}{2a}$	$\frac{y'}{\sqrt{x(1+y'^2)}} = \text{一定値} \equiv \frac{1}{\sqrt{2a}}$
	[3.2] の3番目の式の次の1行目	(C, D は積分定数)	削除
291	[3.6] の1行目	$dl = dl/c' = n dl/c$	$d\mathbf{t} = dl/c' = n dl/c$
	[4.3] の2番目の2つの式のうち右側の式	$y - \lambda \frac{y'}{\sqrt{x'^2 + y'^2}} = b$	$y - \lambda \frac{x'}{\sqrt{x'^2 + y'^2}} = b$